

学校と地域協議会の共催で行う教育講演会（土曜授業）

- 11月の全市一斉土曜授業の日に合わせて、学校と地域協議会が連携し、全生徒・教職員・保護者を対象に、心身統一合気道会師範 小堀 智則 氏を講師に迎え、「心と身体の力の発揮の仕方」と題した教育講演会を実施しました。
- 講演前、約700人の生徒全員が落ち着いたある立派な態度で講師入場を待つ姿は、見ていてとても清々しく、体育館後方に座っていた保護者・地域住民にとって、このような姿を見ることが、学校に対する信頼・安心に繋がることを再認識しました。
- 実演を交えながらの講演は、驚きあり、笑いありの大変興味深い内容で、一人一人が講師の話に引き込まれ、真剣に耳を傾けるとともに友達と生き生きと実技に取り組む姿が見られました。
- 「周りで起こることはコントロールできない。でも、自分自身の『心』はコントロールできる。『心』が身体を動かす。」という講師の力強い言葉は、受験をはじめ、勉強や部活、友達関係等で悩みを抱えがちな多感な中学生の心に、大きく響いたことと思います。



全学年ともに立派な態度



アリーナ中央で講師による実演



生徒の声におされ、若手教諭も登場



三人組での実技体験



生徒代表による御礼の挨拶

【学校の声】

地域協議会には、講演会の他、多くの面で地域や学校に貢献していただき感謝しております。

例として、朝のあいさつ運動、図書整理等のボランティア募集、親学出前講座講演会の開催、市の「もったいないフェア」への参加などです。

「地域で子どもを育てる」の考え方で今後もよろしく願いいたします。

【地域協議会の声】

今日の講演会で学んだ「心のあり方や物事に向かう姿勢」は、将来必ず役に立つと思います。

中学生にとって高校進学前の3年間は「心と体の成長」、「同じ地域に住む子どもたちが集う」という意味で大変貴重な時間です。地域との関わりの中で育った生徒が大人になり、またこの地域に関わってくれることを期待しています。

【いいね!】

当日の講師対応や湯茶接待等は地域協議会関係者が担うなど、学校と地域協議会の連携が図られている。保護者や地域住民の関心が高い土曜授業の一環として実施したことも、大変意義ある取組である。

講演会は、日頃、多感な生徒を見守り、指導している教職員にとっても学ぶことが多い内容だった。

